

4 父兄が支出した教員費調査

(1) 調査の目的

この調査は、子供を公立の小学校、中学校及び全日制高等学校に通学させている父兄が、私的にどれくらいの教育費を支出しているかその実態を明らかにし、教育費に関する諸施策の基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査の期間

昭和48年4月の入学・始業式の日から昭和49年3月の卒業式の日までの1か年間。（調査年度は、昭和48年度であるが、最終的集計は昭和49年度においてまとめた。）

(3) 調査の対象

① 調査対象校

ア 公立の小学校、中学校及び全日制高等学校からそれぞれ10校を選定した。

イ 小学校、中学校的調査対象校は、文部省が昭和44年度に実施した「学校環境と学校特性に関する調査」による地域類型を考慮して選定した。

ウ 高等学校の調査対象校は、学科別を配慮して選定した。

② 調査対象児童・生徒

対象児童・生徒の選定は、該当校1学年6名（男女数はほぼ同数となるように配慮）を無作為抽出の方法により選定した。ただし、複式学級の児童・生徒下宿及寄宿舎から通学する児童・生徒並びに要保護・準要保護家庭の児童・生徒は対象から除外した。その対象数は、表1のとおりである。

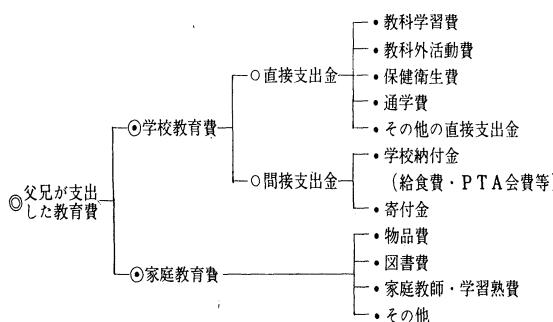
表1 対象児童・生徒数

区分	対象学校数	対象児童・生徒数	性別	
			男	女
小学校	10	360	180	180
中学校	10	180	90	90
全日制高等学校	10	179	80	99

※(注) 高等学校において、当初180名を対象としたが、1名調査不能（中途において）となったので179名となる。

(4) 調査する経費の範囲

この調査では、父兄が児童・生徒に学校教育を受けさせるために支出した経費で、「学校教育費」と「家庭教育費」に区分し調査した。その区分内容は、次のとおりである。



(5) 調査結果の概要

この調査結果についてその概要を示すと次のとおりである。ここで示す支出額は、すべて児童・生徒1人当たりの額である。

① 父兄支出の教育費総額

昭和48年度間において支出された「父兄支出の教育費」は、平均支出額で小学校が56,407円、中学校77,138円、それに高等学校で81,326円となっている。それを構成別にみると表2に示すとおりである。

表2 構成別父兄支出教育費総額

区分	父兄支出の教育費					
	総額(a+b)		学校教育費(a)		家庭教育費(b)	
	実額	比率	実額	比率	実額	比率
小学校	円 56,407	% 100	円 31,764	% 56.3	円 24,643	% 43.7
中学校	77,138	100	50,552	65.5	26,586	34.5
全日制高等学校	81,326	100	74,119	91.1	7,207	8.9

② 父兄支出の学校教育費

父兄支出の教育費のなかの学校教育費について、これを「直接支出金」と「間接支出金」に区分し、その構成別をみると表3のとおりである。

- 直接支出金=教科書・学用品等の購入費、通学のための交通費等で直接支出した経費。
- 間接支出金=学校等に納付するために支出された経費で、例えば授業料、給食費、学級費、PTA会費等

さらにこれを支出項目別に支出額を示したもののが表4であり、構成比で示したもののが図1である。

表3 構成別父兄支出の学校教育費

区分	父兄支出学校教育費					
	総額(a+b)		直接支出金(a)		間接支出金(b)	
	実額	比率	実額	比率	実額	比率
小学校	円 31,764	% 100	円 14,772	% 46.5	円 16,992	% 53.5
中学校	50,552	100	23,204	45.9	27,348	54.1
全日制高等学校	74,119	100	34,632	46.7	39,487	53.3